

TAMA CINEMA 通信



TAMA CINEMA FORUM

TAMA映画フォーラム実行委員会 〒206-0025 多摩市永山1-5 ベルブ永山(永山公民館内)
代表:042-337-6661 直通:080-5450-7204 <http://www.tamaeiga.org/>

特別上映会 8/30  ベルブホール
(ベルブ永山 5F 京王永山駅・小田急永山駅下車徒歩約2分)

上映時間

- ① 10:30 - 12:04
- ② 13:30 - 15:04
ライブ演奏 15:04 ~ 15:40
- ③ 16:30 - 18:04
- ④ 18:30 - 20:04
ライブ演奏 20:04 ~ 20:40

ダブリンの時計職人 Parked



きっと誰にでもある、人生のなかで一呼吸おく時期。ここを開けば、あたらしい自分がみえてくる。



ライブ演奏: O'Phan

東京を中心に活動するアイルッシュ・トラディショナル・ミュージック・バンド

<http://www.roisindubh.jp/ophan/>

チケット

前売	大人(13歳以上)	1,000円
当日	大人(13歳以上)	1,200円
	子ども(4~12歳)	600円

(TAMA 映画フォーラム支援会員、障がい者とその付添者 1名は当日 600円です)

- * 全席自由席・各回入替制
- * 開場は各回 15分前
- * スケジュールは変更になる場合があります。

時計職人のフレッドはロンドンで失業し故郷のダブリンに帰ってきました。2007年のサブプライム・ショック、2008年のリーマン・ショックは、世界的な景気後退を引き起こし、アイルランド経済にも大打撃をあたえました。フレッドは住む家もなく自動車でのホームレス生活を余儀なくされます。住所不定を理由に失業給付を受けることもできず、海岸の駐車場で新生活をスタート。そこは見晴らしのよい場所ではありますが、荒天時には海の猛威にも直面します。そんななか、同じく駐車場に乗り付けた青年カハルとあいさつを交わし、交流を深めていきます。当初、慎重なフレッドは少し疑いながらの関係でしたが、まっすぐで飾らないカハルの性格が、すぐにフレッドの閉ざされたところを開いていきます。そしてある日、カハルとともに訪れたプールで未亡人のピアノ教師ジュールスに出会い、一目ぼれ。フレッドは自身の境遇に引け目を感じながらも彼女との距離を縮めていきます。

人生のなかで一呼吸おく時期の出会いから、フレッドはあたらしいものの見方やこれまで気づかなかった自分に触れていきます。フレッドにとって、カハルとの関係は親子でも仲間でもない歳の離れた隣人関係として始まりますが、それが互いを少しずつ知ることによって友人と呼べる関係に変化していく過程に、ひとを置かれた状況や立場だけで判断しがちな(レッテル貼りしがちな)風潮への、ダラ・バーン監督の態度が表されているように感じます。

監督が丹念な取材にもとづいて創作したキャラクターは社会のリアリティを反映した、説得力あふれる存在です。『ダブリンの時計職人』は、アイルランドという遠い国が舞台の物語ですが、グローバル化と競争激化・格差拡大、若い世代の相対的な発言力の弱さなどは、日本でも社会の歪みとして現れてきています。そのなかであって、最後はひとがひととしてどう生きていくかに着目せざるを得ないことをあらためて噛みしめることとなります。現実社会は楽観だけで動いているわけではなく、ときに私たちにかかりの厳しさを突きつけるのですが、出会ったひとたちとところを通わすことで可能性は広がっていくというエールのようなものを受け止めた気持ちになるでしょう。多くの方にじっくりご鑑賞いただければ幸いです。(山口 渉)

特別上映会特設ページ <http://www.tamaeiga.org/special/dublin/>

第24回映画祭
TAMA CINEMA FORUM

期間 11月22日(土)～11月30日(日) (25日(火)は休映)

今年も上記の日程で映画祭を開催予定!「TAMA 映画賞」「TAMA NEW WAVE」他、多種多様なプログラムを準備中です。観る人、観せる人、創る人が交流し、映画の楽しさが広がる当映画祭にぜひお越し下さい。

第6回 TAMA 映画賞

「日本一早い映画賞」として、明日への元気を与えてくれる・夢をみせてくれる活力溢れる<いきのいい>作品・監督・俳優を映画ファンの立場から感謝をこめて表彰します。対象は前年10月から本年9月に一般劇場で公開された作品及び監督・出演者・スタッフです。

	最優秀作品賞	特別賞	最優秀男優賞	最優秀女優賞	最優秀新進監督賞	最優秀新進男優賞	最優秀新進女優賞
第1回	『ディア・ドクター』	八千草 薫	-	-	深川 栄洋	高良 健吾	満島 ひかり
	『ウルトラミラクルラブストーリー』	木村 大作 監督			北川 悦吏子	渡辺 大知	金澤 美穂
第2回	『告白』	若松 孝二 監督	堤 真一	寺島 しのぶ	川口 浩史	大西 信満	安藤 サクラ
	『さんかく』				山本 寛	金田 哲	忽那 汐里
第3回	『一枚のハガキ』	故・原田 芳雄	光石 研	永作 博美	深田 晃司	古舘 寛治	井上 真央
	『奇跡』	岸田 繁 (くるり)		小西 真奈美	前田 弘二	梁谷 将太	二階堂 ふみ
第4回	『この空の花 - 長岡花火物語』	『KOTOKO』 塚本 晋也 監督 & Cocco	役所 広司	樹木 希林	ヤン ヨンヒ	神木 隆之介	前田 敦子
	『桐島、部活やめるってよ』	入江 悠 監督 & SR シリーズ スタッフ・キャスト一同		宮崎 あおい	沖田 修一	満島 真之介	橋本 愛
第5回	『さよなら溪谷』	『はじまりのみち』 原 恵一 監督 スタッフ・キャスト一同	松田 龍平	真木 よう子	中野 量太	星野 源	黒木 華
	『横道世之介』	『恋の渦』 大根 仁 監督 スタッフ・キャスト一同		吉高 由里子	白石 和彌	池松 壮亮	刈谷 友衣子

2014年今秋に開催される国内映画祭情報

今年9月から年末にかけて行われる国内の映画祭情報をピックアップしました。さまざまな映画祭がたくさんありますね。気になった方はぜひWEBで検索してチェックしてみてください。

カナザワ映画祭 2014 9/12～9/15 @石川県金沢市

爆音バーホーベンを始めとする濃厚なラインナップ。「映画の生体解剖」や若手監督のオールナイト上映もあり。

なら国際映画祭 2014 9/12～9/16 @奈良県奈良市

河瀬直美監督が理事長を務める映画祭。新進監督作品のコンペや映画製作なども行っている。

第7回したまちコメディ映画祭 in 台東 9/12～9/16 @上野・浅草

いとうせいこう氏がプロデュースの国際コメディ映画祭。チャウ・シンチー監督最新作プレミア上映あり。

第36回ぴあフィルム・フェスティバル 9/23～9/25 @京橋

国内最大の自主映画コンペを開催。今年の特集は、「羽仁進監督」、「特撮」等。

夜空と交差する森の映画祭 10/4 18:30～5:00 @埼玉県長瀬市

日本初の野外フェスで楽しむ映画祭。森の暗闇が映画館の暗闇に生まれ変わる。

会場 パルテノン多摩大ホール・小ホール (京王・小田急多摩センター駅) ヴィータホール (聖蹟桜ヶ丘駅) /
ベルブホール (京王・小田急永山駅)

第15回 TAMA NEW WAVE

中・長篇 (30分以上100分以内) の映像作品を対象としたコンペティション。日本映画界に新風を送り込む新しい才能を発見し、TAMA より広く発信することを目的としています。

[これまでの主なノミネート作家の近況 (敬称略)]

作品名	監督名	最近の活動内容
バンザイ人生まっ赤っ赤。(第1回グランプリ) ロケットパンチを君に! (第7回特別賞)	中野量太	13年2月『チチを撮りに』が劇場公開。SKIPシティDシネマ国際映画祭、ヨコハマ映画祭、日本映画批評家大賞等で映画賞を受賞。第5回 TAMA 映画賞最優秀新進監督賞を受賞。
自転車とハイヒール (第2回グランプリ)	深川栄洋	14年12月に『トワイライト ささらさや』(新垣結衣・大泉洋主演) が劇場公開予定。
かざあな (第8回グランプリ)	内田伸輝	12年12月に『おだやかな日常』が劇場公開。13年2月『さまよう獣』が劇場公開。
反逆次郎の恋 (第8回ノミネート)	石井裕也	14年5月に『ぼくたちの家族』が劇場公開。12月に『バンクーバーの朝日』(妻夫木聡主演) が劇場公開予定。
へばの (第9回ノミネート)	木村文洋	12年12月『愛のゆくえ』が劇場公開。現在新作『息衝く』を制作中。
最低 (第10回グランプリ)	今泉力哉	14年6月『サッドティー』が劇場公開。
私の悲しみ (第12回グランプリ)	堀内博志	13年第14回TAMA NEW WAVE ある視点部門にて新作『山崎ファミリア』を上映。
かしこい狗は、吠えずに笑う (第13回グランプリ)	渡部亮平	13年7月公開の『かしこい狗は、吠えずに笑う』にて第23回日本映画プロフェッショナル大賞新人監督賞を受賞。
Dressing UP (第14回グランプリ)	安川有果	14年3月『激写! カジレナ熱愛中!』が劇場公開。

【昨年度】第23回映画祭 TAMA CINEMA FORUM の主なゲスト

吉高 由里子 氏 (『横道世之介』)

黒木 華 氏 (『舟を編む』『シャニダールの花』)

真木 よう子 氏 (『さよなら溪谷』)

松田 龍平 氏 (『舟を編む』『青い春』)

池松 壮亮 氏 (『横道世之介』)

新井 浩文 氏 (『青い春』)

大森 立嗣 監督 (『さよなら溪谷』『ぼっちゃん』)

沖田 修一 監督 (『横道世之介』)

原 恵一 監督 (『はじまりのみち』)

大根 仁 監督 (『恋の渦』)

尾崎 世界観 氏 (『自分の事ばかりで情けなくなるよ』)

他 全 43 名

映画祭情報は、決定次第ホームページ (www.tamaeiga.org/) にて発表いたします。どうぞお楽しみに!

FILM FESTIVAL

第6回下北沢映画祭 10/11 ~ 10/13 @下北沢

「映画を遊ぼう」をテーマにさまざまな会場で上映。実写・アニメ・ドキュメンタリーのジャンルを問わないコンペがメイン。

第27回東京国際映画祭 10/23 ~ 10/31 @六本木

日本国内最大級の映画祭。今年はエヴァンゲリオンシリーズの庵野秀明監督特集を行うなど少し様変わり?

第20回 KAWASAKI しんゆり映画祭 10/25 ~ 11/3 @神奈川県川崎市・新百合ヶ丘

われら TCF と時期も距離も近いご近所の映画祭。毎年ラインナップが被らないかハラハラしています (笑)。

ショート・ピース! 仙台短篇映画祭 2014 11/1 ~ 11/3 @宮城県仙台市

短篇映画を対象としたコンペを行っている。昨年は弊映画祭でこちらの映画祭製作の若手短篇作品を上映させて頂きました。

第8回田辺・弁慶映画祭 11/7 ~ 11/9 @和歌山県田辺市

新人監督のコンペを主体とした映画祭。昨年は TAMA NEW WAVE コンペ入選作も上映されました。

6月7日(土) ベルブホール
特別上映会
レポート

negative: nothing

ネガティブ：ナッシング

全てはその一歩から

6月7日(土)に特別上映会『ネガティブ：ナッシング 全てはその一歩から』を開催いたしました。

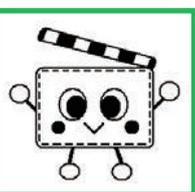
この作品は、東日本大震災後、日本を勇気づけたいと徒歩で日本を縦断したスイス人男性、トーマス・コーラさんの記録映画です。「ネガティブ：ナッシング」(嫌だったこと：なし)で締めくくる日記から、次第に口コミで広がり、やがて日本政府からその行動を讃えて感謝状が贈られることになります。トーマスさんの真摯でポジティブな姿に勇気づけられる映画です。

上映会当日はあいにくの雨にも関わらず、たくさんの方にご来場いただきました。上映後には、来場者の方からの質問を中心にヤン・クヌーセル監督にトークを行っていただきました。映画についての質問はもちろん、日本とスイスの関係や、本上映会ならではの質問も多数あり、お客様のみならず、監督も楽しんでおられました。

日本・スイス国交樹立150周年の今年は、日本・スイス両国で関連イベントが開催され、両国の親密さを感じる絶好の機会です。ちょっとそこまでおでかけしてみたいはいかがでしょうか。(遠藤弘樹)



(写真中央：ヤン・クヌーセル監督)



お知らせコーナー

たまシネマ隊 (映画祭の短期運営スタッフ) 募集説明会を行います!

映画祭期間と準備段階(10月～11月)のみお手伝いしていただく期間ボランティア“たまシネマ隊”を募集しています。

映画祭期間中3日以上参加できる方、準備期間中に活動できる方が条件となります。

今年は9月28日(日)と10月13日(月・祝)午後3時半～5時、消費生活センター講座室(ベルブ永山3階事務所横)にて説明会を開催予定です。映画祭の裏側をスタッフとして覗いて見ませんか?

詳細は、HP (<http://www.tamaeiga.org/>) をご覧ください。

支援会員制度のお願い

当映画祭を一緒に支えて頂ける支援会員を募集しています。映画を「観る人、観せる人、創る人」の交流の場づくりを通じた、地域と日本映画界の活性化に向けて、資金面でサポート頂けませんか。ご支援頂いた方には特典をご用意していますので、ぜひご協力をお願い致します。

[支援金寄付 個人会員]

一口1000円

郵便振替番号 00160-5-541123

加入者名 TAMA映画フォーラム実行委員会
(ご不明な点はお問い合わせ下さい)

特典①:映画祭チラシ送付

特典②:映画祭パンフレット贈呈

特典③:特別上映会割引(当日料金が半額!
2～8月の間に4～5回開催予定)

※その他特典もご用意する予定です。

TAMA映画フォーラム実行委員会ホームページ www.tamaeiga.org/

@tamaeiga (最新情報をフォロー) www.facebook.com/tamaeiga (facebookページに「いいね!」で参加)